



ふくしま家づくりネットワーク 県北・相双

[グループの特徴とメッセージ]

- 私たちは、地産・地消のシステムを構築し、家づくりの技術・技能を継承すると共に、
「地域の木材を使った家づくり」の普及を目的とし、平成16年より福島県の県北地区の木材・製材業者、大工、工務店、設計事務所が力をあわせて『地域の木材を使った家づくり』の実践の他、様々な活動実績を積み重ねてきました。
- <基本方針>は県産材・地域材の持続的な活用＝地域の木材を使った家づくりシステムの構築です。
- <新たな社会的課題等への対応>として、講演会・勉強会の主催や参加、各種イベント等への参加により問題意識を持ち、技術力の向上に努め、それを設計・施工に反映してきました。

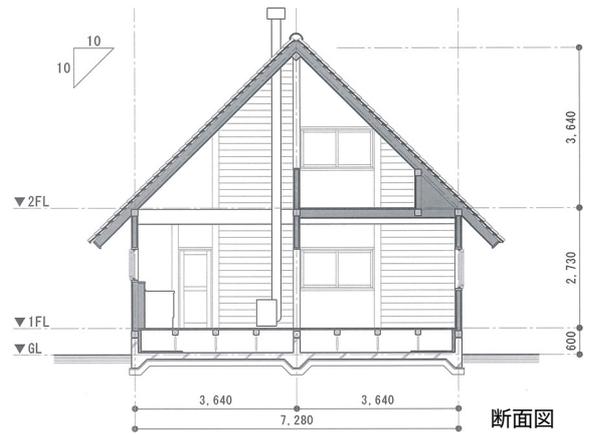
[地域型復興住宅のイメージと特徴]

一緒に造り育てるふるさと福島の家づくり

- 将来、「ふるさと福島で一緒に暮らしたい」をかなえる、可変性に富んだつくりとします。
- 小さく建てる。間仕切りを少なくし、収納等は必要に応じて造っていく。
- 生活スタイルの変化に対応できるように2階の吹き抜け部分に増築の余地を残す。

木の香るやさしい住まいづくり

- 県産材を随所に使い、室内外とも4～5寸柱を見せた真壁とし、杉板仕上げとします。杉の香りにはリラクセス効果があり、震災後の心のケアを助けます。又、吸放湿性があり、湿度の調節をしてくれます。
- 福島の気候風土は夏は高温多湿で、冬は寒く北西風が特徴。断熱性能と通風を確保し、化石燃料消費を抑えます。



グループの基本情報		地域型復興住宅の主な工法・価格帯	
所在地	福島市宮代字一本松91 (有) 菊地設計内	主な構造・工法	木造軸組工法
グループ構成	合計23社 (原木供給/1社、製材/2社、建材流通/1社、設計/9社、施工/8社、その他/2社)	価格帯	1,400~2,000万円
代表者名	川崎直竹 ((有) 川崎建築設計事務所 代表取締役)	価格の基準面積	96~110㎡
主な受賞歴等	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年ふくしまの家地域活性化支援事業採択 平成22年顔の見える木材での家づくりグループ50選 木材関連セミナー(年1回)、木工教室(年1回)開催 住宅見学会(年2回) 	価格に含まれない項目	屋外工事費、外構工事費、設計料、諸手続費
連絡窓口	担当: 菊地 進 [メール] kiks@dolphin.ocn.ne.jp [電話] 024-553-3065 [FAX] 024-553-9609	* 価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。詳しくはお問い合わせください。	
ホームページ	http://www.f-iezukuri.net/		